

福祉教育推進プログラム 詳細

分野	タイトル	講師	所要時間	対象	内容
全般	ふくしてなんだろう	柏崎市社会福祉協議会	1 コマ	小学生	「福・祉」それぞれの漢字に「しあわせ」という意味があります。福祉教育では、ふくしを「ふだんのくらしのしあわせ」と紹介しています。自分を含めて世の中には幸せにならなくていい人はいないこと、人々が学校や地域の中で幸せに過ごすためにどのようなことができるかを一緒に考えます。
高齢	としをとるってどんなこと？	柏崎市社会福祉協議会	1 コマ	小・中学生	年をとることにより、体にどのような変化が出てくるのかを学びます。 高齢者に対して、どのような思いやりのある行動ができるか考えます。
	車イス体験	柏崎市社会福祉協議会	2 コマ	全年齢	車いすの使用方法、乗り降りや移動時の介助方法など、基本的な操作方法を学びます。 学校内を介助しながら移動し、段差を越える練習も行います。
	高齢者疑似体験	柏崎市社会福祉協議会	2 コマ	小・中学生	高齢者の体の変化を体験します。 高齢者疑似体験セットは、数に限りがあるため、受講人数が多い場合は、部位ごとに体験することも可能です。
障がい	障がい理解	柏崎市社会福祉協議会	1 コマ	小・中学生	身体障がい、精神障がい、知的障がいについて、障がいがあるということはどういうことか理解を深めます。 障がいがある方に対して、どのような思いやりのある行動ができるか考えます。
	見えない世界の体験	柏崎市社会福祉協議会	2 コマ	小・中学生	アイマスクと白杖の体験を通して、目が見えない方の理解と、どのようなサポートがあると助かるのかを考えます。
	※手話体験	柏崎地域手話サークル等連絡協議会	2 コマ	全年齢	・手話とは手指や体の動き、表情などを使って「見て分かる言葉」であることを学びます。 ・自己紹介ができるようになります。 ・簡単な会話ができるようになります。 ・「聞こえない」ということはどういうことか皆さんで考えましょう。
	※視覚障がい者と盲導犬との生活	小川 孝幸 様	2 コマ	全年齢	・視覚障がいをお持ちの方が盲導犬とどのように生活を送っているかご講話いただきます。 ・講話内容は講師と要相談です。
ボランティア	ボランティアをはじめよう	柏崎市社会福祉協議会	1 コマ	全年齢	ボランティア活動の 4 つの原則である「自発性」「社会性」「先駆性」「無償性」について学びます。 また、ボランティア活動の種類や活動内容、参加方法等についても併せて学びます。
	※点字体験	柏崎点訳奉仕会	2 コマ	全年齢	・点訳とは主に目の不自由な方のために、文字を点字に翻訳することです。 ・50 音の打ち方を学びます。 ・外国語や数字はどのように打つのか学びます。 ・自分の名前を打ってみましょう。
	※音声訳体験	柏崎音訳の会	2 コマ	全年齢	・音声訳とは主に耳の不自由な方のために、文字や図表などの情報を機械に吹き込み、音声情報に変換することです。 ・機械に声を吹き込むための、発音練習をします。 ・実際に機械を使って言葉を吹き込んでみましょう
全般	ユニバーサルデザインってなんだろう	柏崎市社会福祉協議会	2 コマ	小・中学生	ユニバーサルデザインとは、「障がいの有無に関係なく、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること」をいいます。似た言葉でバリアフリーという言葉もあり、「高齢者や障がいがある人が日常生活、社会生活を送る上での障壁（バリア）を取り除くことをいいます」その考え方の違いを学び、家や学校の中でそれらがどのように取り入れられているかを学びます。 ※1 コマ目は講義を行い 2 コマ目は学校内でユニバーサルデザインに配慮されている部分などを探し歩きます。
	理想のまちを考えよう	柏崎市社会福祉協議会	1 コマ	要相談	今までに行った福祉教育を通して自分たちの住む町がどのようになるとよいか考えます。

※印のプログラムについては、講師謝金が必要です。

貸出可能物品について



車いす
12台



高齢者疑似体験セット
10セット



妊婦体験セット
1セット



※実際の白杖とは異なります。

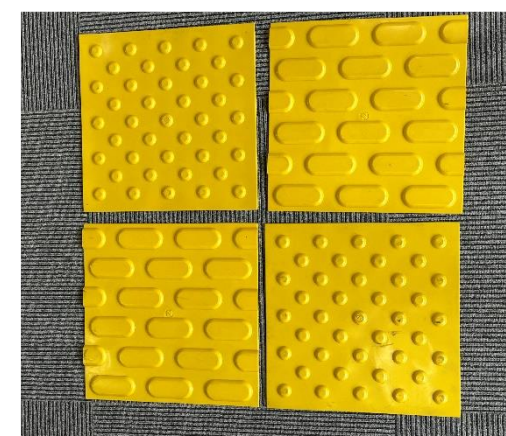
疑似白杖
48本



1本杖
4本



4点杖
2本



点字ブロック
55枚



点字の本
10冊

※貸出可能期間は 1 週間前後です。 物品借用書を提出していただきます。